

西の菜時記

特集：風水のまち山口

◆山口市菜香亭：〒753-0091 山口市天花1丁目2番7号 TEL:083-934-3312 FAX:083-934-3360◆

令和3年 3月 26日発行
第 59号

発行元：山口市菜香亭
指定管理者
特定非営利活動法人
歴史の町山口を甦らせる会

令和2年9月16日から11月15日まで、大広間展示室で、企画展「風水のまち山口」を開催しました。雪舟生誕600年記念事業として、雪舟も生きた中世の風水の姿をとどめる山口に、いまに伝わるパワーの源を探る企画展です。

「風水って何？」コーナーでは、風水やその専門家である陰陽師などについて説明。陰陽道と関わりが深い「天文学と星占い」の関連資料として、中国で星占いに使われていた星図をもとに、江戸時代初期天文暦学者洪川春海が日本の地名をあてはめて作った天文分野之図（山口県立山口博物館蔵）の複製パネルを展示しました。

「大内氏の風水 山口の風水」では、大内氏が京都から陰陽師を招き、山口の地形にあわせた風水でまちづくりを行ったことを紹介、山口の風水を語るうえで欠かせない史料「山口古図」（山口県文書館蔵）の複製パネルも展示しました。京都と違って東西南北から少し傾いた町割りから風水的意味はどのように読み取れるのでしょうか？



出典：国土地理院ウェブサイト

山口は室町・戦国時代西の京として繁栄し、幕末には維新策源地として大きな役割を果たしました。その原点には大内氏の、風水によるまちづくりがあったといわれます。

山並みを背にして南に開け、前面に河川を臨み、四神獣（玄武・青龍・朱雀・白虎）によって四方を守られた、龍脈から流れ込んだ気を逃がさず保つ、風水にかなった地・山口に大内氏は館をおきました。

雪舟生誕600年記念企画展 風水のまち山口

その後、野田神社、今八幡宮などの寺社や史跡等パワースポットをガイドと巡りました。風水や歴史についてわかりやすい説明や、ガイド本には載っていないとっておきの話も聞くことができ、なごやかな雰囲気でのまち歩きをみなさん楽しんでいました。

ツアー参加者にはアトリエ a. p. の片山涼子さんとのコラボによる今八幡宮の御守「omamomo」を、また希望者には別途本ツアー限定の今八幡宮の金文字の御朱印を授与させていただきました。お土産として山口風月堂の和菓子「もなたん」をお配りしました。「omamomo」は好みのデザインを選べ、とてもかわいいと好評でした。



開運！西の京・山口、風水パワースポ巡り （武将×首相のパワーの源泉！）開催

令和2年10月3日（土）・24日（土）、11月14日（土）の3日間、「開運！西の京・山口、風水パワースポ巡り」武将×首相のパワーの源泉！を開催しました。2021年に山口県央連携都市圏域で開催される「山口ゆめ回廊博覧会」の重点プログラム「ゆめ散歩」の一つで、本年度はプレ実施として行われました。

西の京・山口は、守護大名「大内氏」が京から陰陽師を招き、「背山臨水」「山河襟帯」「四神相応」等の風水を駆使してつくられた街で、大内氏や毛利氏のお殿様や、山口県出身の多くの首相ゆかりの地です。そうした山口のパワースポットを、山口をこよなく愛する名物ガイドと歩くことができる特別なプログラムで、山口市内や県内からのほか、ネット情報を見て関西から参加された方もありました。

ガイドは菜香亭の河野康志館長（肩書は開催当時のもの）。まず菜香亭で風水の基礎知識、山口の風水、当日まわるスポットについて説明がありました。



好評の御守 omamomo はツアー限定

令和3年開催予定
企画展「風水のまち山口」
9月1日（水）～11月1日（月）
風水パワースポ巡り
9月25日（土）、10月9日（土）・23日（土）、11月13日（土）・27日（土）
詳しくはホームページ・SNS 等でお知らせします。

